

## 第16回 理科サロン

# 教えることは学ぶこと

## ～セレンディピティーと童心と創造と～



筑波大学名誉教授、ノーベル化学賞受賞

**白川 英樹 先生**

私には大学でしか教育の経験はありませんが、大学での教養教育や大学院での専門教育を通して学んだことは、「学んだから教えることができる」のではなく、「教えることによってみずから学ぶことができる」ということでした。このことは、初等・中等教育でも同じだと思っています。

生来、子ども達はどんなことにでも興味を示す好奇心や豊かな感受性をもっており、それを童心と言い換えても良いでしょう。その童心を維持・発展させるのが教育であり、教育者を含めて大人の責任であると考えています。

**日時：11月16日（土）午後2時半～4時 講演会**  
(質疑応答を含む)

**場所：大阪府教育センター 本館2階 視聴覚研修室**  
(地下鉄御堂筋線あびこ駅下車 北東800m 駐車場はありません 電話：06-6692-1882)

**参加資格：教育関係者（定員100名）**

(参加希望の方は、氏名・所属を明記して、  
大阪府教育センター理科教育研究室 担当 辻川  
Y-Tsujikawa@edu.osaka-c.ed.jp 迄お申込下さい)

白川英樹先生は、ご存じのように、2000年に「導電性高分子の発見と開発」でノーベル化学賞を受賞されました。東京工業大学で研究されていた頃に初めてポリアセチレン薄膜を合成されましたが、その合成および導電性の発見までには多くの偶然と鋭い観察があった事は有名です。今回はその歴史を含めて刺激的なお話をお伺いできる機会となるでしょう。

**主催：教育ボランティア「けやきの会」**  
(電話：06-6857-2562)

**協力：大阪府教育センター**

